

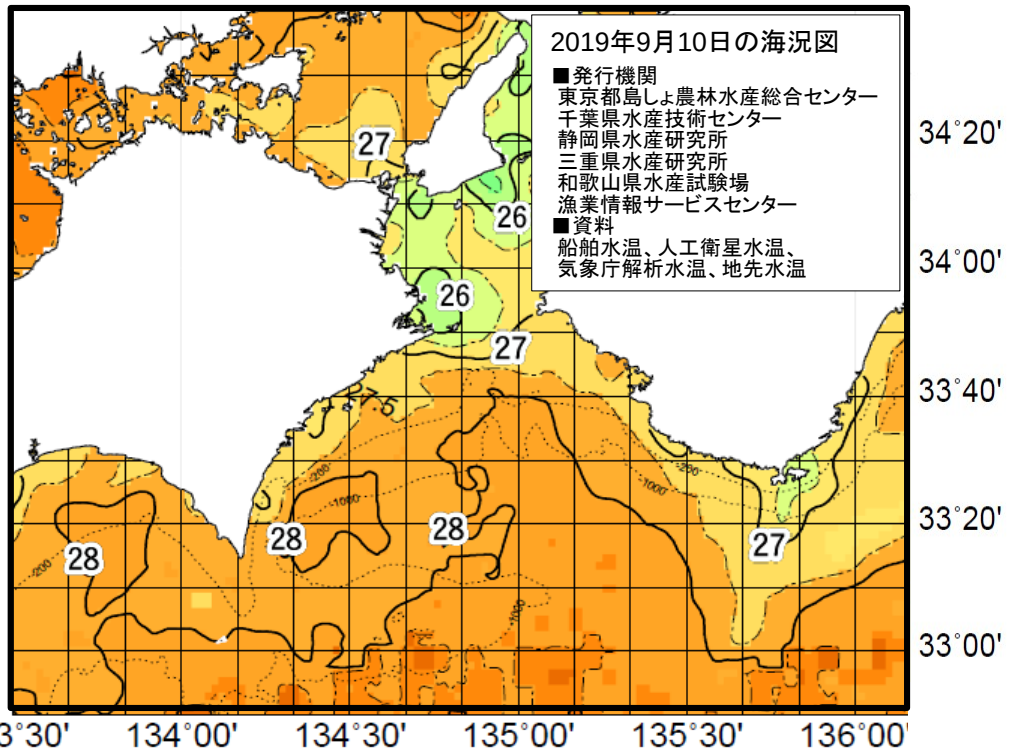
海況

1. 周辺海域の水温等

黒潮は、四国沖を大きく迂回する流路となっており、室戸岬沖、潮岬沖ともに「著しく離岸」で推移した。

3日現在の徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘で27℃台、紀伊水道で25℃～26℃台、海部沿岸で26℃～28℃台となっている。

黒潮の表面水温は29℃台。



※黒潮の離接岸の表現 (いづれも正南方向)
 室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
 潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 25~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~

直近4日分の海況図を「地先水温情報」のページに掲載しています。

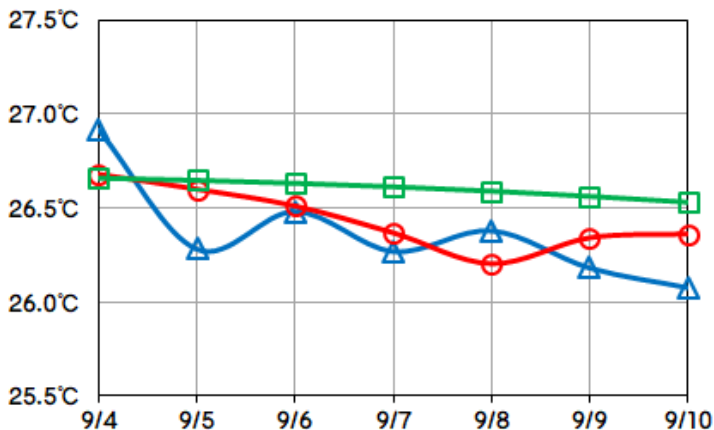
2. 地先水温(9月4日~9月10日)

一年で最も水温が高い時期となっている。

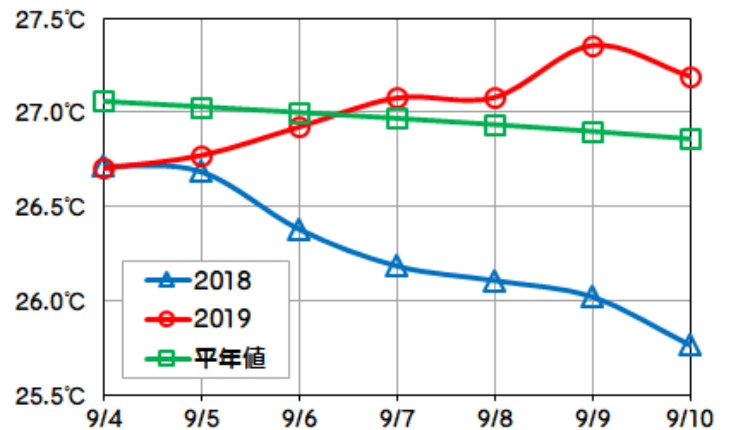
鳴門地区の水温は「平年並み」の26.4℃～26.7℃で推移した。

日和佐地区の水温は、「平年並み」の26.7℃～27.4℃で、前週の下降傾向から一転、9日にかけて大きく上昇した。

鳴門地区



日和佐地区



※水温の高低 平年並み: 平年値±0.5℃未満, やや高め/やや低め: 平年値±0.5℃以上1.5℃未満
 高め/低め: 平年値±1.5℃以上2.5℃未満, かなり高め/かなり低め: ±2.5℃以上

※平年値 1984年~2018年の平滑平均値

3. 週間予報(9月11日~9月17日)

黒潮は、室戸岬沖では「著しく離岸」、潮岬沖では「著しく離岸」のち「離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区、日和佐地区ともに「平年並み」で推移する見込み。

サワラ延縄の操業が本格化している。

1. 紀伊水道（標本漁協：3）

船びき網では、シラスが56.3ト水揚げされた。

釣りでは、イサキが減って大主体に0.3ト水揚げされた。

延縄では、サワラが大きく増えて1kg級（やなぎ）主体に11.3ト、タチウオが増えて2ト、ハモが大きく減って1.1ト水揚げされた。

小型定置網では、マアジが増えて特大主体に1.8ト、ブリが増えてつばす級主体に1.1ト、カンパチが大きく減って0.2ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが大きく減って2.7ト、マアジが大きく増えて0.3ト、えそ類が大きく増えて0.1ト水揚げされた。

2. 海部沿岸（標本漁協：4）

釣りでは、タチウオが大きく増えて0.5ト水揚げされた。

延縄では、アカムツが増えて0.3ト、キダイが大きく増えて大主体に0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、かます類が増えて0.6ト、ムロアジが大きく増えて0.2ト、マルソウダが減って0.1ト水揚げされた。

漁獲量集計表（漁獲が0.1ト以上のものを抜粋）

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	(kg)	銘柄	前週比※
					1日1隻あたり 平均漁獲量		
紀伊水道	船びき網	75	シラス	56,250	750		→
	釣り	17	イサキ	300	18	大主体	↘
	延縄	72	サワラ	11,260	156	1kg級主体	↗↗
		91	タチウオ	1,978	22		↗
		23	ハモ	1,108	48		↘↘
	小型定置網	20	マアジ	1,757	88	特大主体	↗
		12	ブリ	1,075	90	つばす級主体	↗
		18	カンパチ	205	11		↘↘
	底びき網	21	ハモ	2,686	128		↘↘
		4	マアジ	332	83		↗↗
10		えそ類	126	13		↗↗	
海部沿岸	釣り	18	タチウオ	529	29		↗↗
	延縄	28	アカムツ	314	11		↗
		12	キダイ	206	17	大主体	↗↗
	小型定置網	11	かます類	623	57		↗
		7	ムロアジ	186	27		↗↗
		7	マルソウダ	140	20		↘

※ 前週比 200%以上:↗↗ 120-200%:↗ 80-120%:→ 50-80%:↘ 50%未満:↘↘